

常盤塾

日時：2015年2月14日（土）10：00～13：00

場所：新国際ビル MBF ハウス

文責：常盤塾ライター 福井悠太

（1）常盤先生の話

●常盤さん

北里大学の佐藤さんが三月か四月に来てくださるらしい

では一応4月11日にしておくので、ぜひみなさんに参加していただきたい

ユダヤ教を調べてすごく有名な方

言葉は神からいただいた、言葉と宗教はすごく重なり合っている

モーターの小さな会社が船橋にあるので、見学に行くのもよい

世の中の新しい取り組みを知る

この会も新しい事を取り入れていくことが大事

年とともに衰えていくので活性化が必要

●松永さん

千駄ヶ谷のバイオリン屋さんが面白いから来ないかと言ってくださっている

いのちのヴァイオリン(中澤宗幸さん)

工房は面白いんじゃないか

りんごの木のおじいちゃんみたいな感じ

●常盤さん

ということで、この会を豊かにしていく

与えられたものだけではダメ

「質」の話

古城さんや片平先生からの文面もあった

この前、尻切れ蜻蛉だった議論に結論をつける

太平洋セメントの谷口さん

昭和30年代は高度成長期の黎明期であったが、電通のPRセンターが十訓を出した

無駄遣いをさせろ、捨てさせろ、、、

彼らの行動基準だった

戦後このような時代もあった。時代背景を知らないと語れない

「質」「価値」を日常生活で一般的に使用しているが、質、価値とは何かと言われるとすぐには答えられない

また、人それぞれの答え、しかし誰も否定はしない

質とは、価値とは、はっきりとは分からないが、確かにそこに存在するもの。

正四面体を考えると、下の頂点に価値、質、心があって、上の頂点に良き暮らしがある

下の面には実体がないといけない。モノがないといけない。

また、量について考えると、質が量、価値が価格、心が金になっている

量と質の二分法にするのはダメ、量と質は重なり合っている。

同心円ではなく、異心円

そして、良き暮らしとは量と質は重なり合っているところではないか

質の議論をするときは、人の心の部分と価値の部分で議論していかないといけない

今までは、モノの開発をしてきたが、一方で心の開発が欠けているのではないか

今こそ、心の開発が必要である

実は、モノばかりでは我々の暮らしは成り立たない

そこで、心の開発とは何かというと

手嶋コワンという方が、心を豊かにして、自分の心を相手の心に重ね合わせることに心の開発があるといった

石門進学において、商人はお金を儲けてもいいが、もっと高いレベルで商業をしないといけない
商業道には心の開発が必要

今の世の中は、モノの開発ばかりに目がいって、心の開発が足りていない

近江商人も同じ例、人もよし世間もよし

売るのはいいが、売る背景となる心がないとダメだ

今はその背景となる心が足りていない

つまり、質と価値を普段の生活で実践していくためには、心の開発が必要

夢や希望に欲望という脂肪がついて、メタボになってしまっている

メタボになったことで、モノの本質がボケてしまっている。

量を目指していると価格を下げるしかない、今日は昨日と同じ値段で売れない

量を追うことは、値下げの議論になる
コストダウンだけを追求した先に質はない
これからは新しい質を作っていくといけない

ROE 重視で、株主重視が叫ばれている
アメリカは高いが、日本は約半分、日本はもっと儲ける必要があると言われている
こういうところから本当の質が生まれてくるのか疑問
社員の心の資産である情熱ややる気を燃えさせるような仕組みを作らないといけない
これが結局は ROE を高めることにつながる
お金、量をベースとした ROE ではなく、心や質をベースにした ROE を考える必要がある

全体と部分について
全体だけ整えればいいわけではない
部分が全体を作るのだから、部分に手抜きをしてはいけない
全体の概要を念頭に置きつつ、部分部分に手抜きせずに、作っていく必要がある

模型飛行機に昔は夢中になった
最初は全然飛ばなかった
そのうち気が付いたのは、尾翼の向きやゴムの巻き方などの部分を見出してからしっかり飛ぶようになった

●片平さん

ミシュランの方の話では、車のタイヤが改善したのが 1895 年
ビバンダムキャラクターができたのも同じ
そして、1900 年にミシュランガイドができた
ミシュランはタイヤを使うソフトウェア(標識など)も開発した
モノがいいものでも、使うインフラがないと意味がない

商品の全体ではなく、商品が使われる生活全体をみていた
狭い意味だけのものづくりだけではなく、広い意味で考えないといけない

●古城さん

タイヤではなく、エンタイヤ笑

●片平さん

車線変更の棒を支えるキャラクター(写真)がいい

全くいらないが、かわいい

●出井さん

よく見るとお腹に突き刺さってて怖い笑

●古川さん

日本人らしい

認識しやすい

●常盤さん

心の部分がものづくりの生きていかないとダメ

●古川さん

おしぼりがリアルでなくなったことは、実用面以上に残念

●片平さん

トイレがピカピカで感心した

●古川さん

プライオリティーの議論

資源配分の結果、おしぼりがペーパーになったなどになったら、どう考えればいいか

●常盤さん

時間資本主義の到来(松岡真宏さん)

プライオリティーとは自分が何に価値観を置くか

常盤塾も片手間で参加するものではない、みんなが意欲的に参加をしなければ意味がない

やりたいことは色々あるが、机の上にカードを並べるようにして今一番大事な事からやっていく

●上原さん

質の経営と言っている会社が本当に質を考えてるのか

質と量が重なっているから難しいが

質を追求しているといえ、量も売れるだろうと思っているのでは

●古城さん

儲けなかったら質も追求できないというのは事実だが、質と量を別々に議論しているのが間違い

質と量が重なって、同心円になるのが、最終目標。そのためには、循環を作っていく必要

●上原さん

社員は質が大事なのはわかるが、量を売らなければならないと思っている
全社で、質の大事さを共有できていることが肝要
このつなぎ方が心ではないか

●常盤さん

小倉さんは質と量の両立をしっかりした人
質が上がるなら、一時的に価格があがってもいい
マネジメントの問題
ROE の追求で良くなった企業も確かにあるが、ROE とは何のためにやっているのか
馬券と同じで、株主が尻を叩いている

●古城さん

まず量を追求するのが間違っている
質がいいから結果として量につながる

●松永さん

「非思量」禅でいうイマココ
岡潔やジョブズが禅をやっている
思考する前に、存在しているものがある

量と質の議論は金の秤で計るのか、心の秤で計るのかの違い

永平寺などでは、心を開発するとき、モノで教える
例えば、お椀がお釈迦様の骨でできているなど

●上原さん

解説されるとありがたみがなくなる
感じ取る必要がある
そのあたりのコミュニケーションは難しい

●松崎さん

両面あって、解説されたい人と感じ取りたい人がいる
一区切りで考えるべきでないのでは

●常盤さん

このような議論をするにも、自分のなかで考えてから聞くのと、ただ考えずに聞くのとでは全く違う

聞いたことは忘れる、やったことは理解できる

ボヤッと聞いて、帰るだけでは意味がない

答えのない質問にむかって答えを追求するプロセスのなかに本質がある

(2)「21世紀の資本」

発表資料参照

●松永さん

不動産の価値は維持されるのか

それは想定されているのか

●今田さん

そのように想定されているはず

●古城さん

豊かさを測るのに GDP で計るのか

豊かさを測るのはエネルギーなんではないかと考えていた

経済成長して何が悪いのか

人口が増えて食料が不足するのは困るが、緑の革命で心配が減った

●今田さん

エネルギー開発の速度と消費の速度では、消費の方が早いのでは

そのため、セーブしないとイケないのかも

●古城さん

価値をお金で捉えるには限界があるのではないかと

●今田さん

物差しとして GDP が一番わかりやすい

●常盤さん

GDP に代わる指標を世界的に探す動きはあるが、見つかっていない

ハピネスなどがあるが、いまいち

代替案が提案できていない

金本位制とは何なのか

埋まっている金があるのはリスクなのではないか

●古城さん

Bitcoin でも同じでマイニングで価値が下がらないようにしている

●松永さん

デジタル広告は特殊

めっちゃめっちゃ期に関わらず、技術は伸び続けた

いいことなのかどうなのかすら、わからない次元までに来ている

●今田さん

株価の上下も機械がやっている

トレーダーの仕事は暴発したときのストップ

●古川さん

お金は交換に必要な媒体だが、それが、現実的な硬貨である必要はない

●上原さん

インターネットは公共財的になってきているが、技術を入れても先に扱えるのは資本家である

●古川さん

いくらお金で買えないものはある

日本にはいろんな **social capital** がある

それが起きてくるとこの議論はずれてくるかもしれない

●上原さん

成長しないからみんなで仲良くできるならいいが、それができない

一人の裏切りがあれば崩れる

さらに、現在はつながりが強いからそんなことはできない

●松崎さん

この本も成長を否定しているのではなく、中間層への問題提起

●松永さん

「みんな」というのが、昔の日本の良さではあったが、いまでは「みんな」の境界が難しい

●安梅さん

高齢者への対応でも、国によって違うのに、お金という軸のみで語るの難しいのでは

●片平さん

この議論が一番嫌いだった

普通ならば、理論→実践→応用となるが、経済ではそれがなかなかない(ケイジアン)

理論の勉強にそそられないのは、その応用があまりにも限られているから

無駄にはならないが、人類学の勉強と同じ程度に考えておかないと

●大下さん

公的なところに勤めた人はこのような議論は非常にしている

●上原さん

行動倫理をやる、経済学的な頭の使い方を知るという意味ではこの議論は意味がある

●松永さん

日本人はなんでこんなに働くのかと聞かれた時に、

松川製作所の人が、「なんで一生懸命に働くのかと考えるのかわからない」

労働が当たりであると感じている

労働が市場になっていない

●片平さん

結論として、この本を続けるということでもいいのではないかな

●常盤さん

前向きに、仕方なく笑

●松永さん

一回一章でお願いします

●片平さん

1年後にもう少し下火になってから読んでもいいかもしれない笑

(3) 常盤塾のあゆみ

●丸山さん

二月いっぱいやっていただきたい

●常盤さん

記録として留めておかないといけないから、しっかりやろう

忙しいは理由にならない